

## 働く障害者インタビュー

VMネットでは、毎回働く障害者の方のインタビューを掲載していく予定です。  
今回は、在宅で働いている

**林 映二さん**（バーチャルメディア工房ぎふ）  
（29歳 脳性小児麻痺）

をご紹介します。

**Q** いつからお仕事を始められましたか？

22歳から。もう7年目。

**Q** どんなお仕事をされていますか？

主にホームページ作成、パソコン講習の講師など。

**Q** 仕事はお忙しいですか？

仕事によります。仕事が重なると、毎日1日中、作業することもありました。

**Q** お仕事の面白みはどんなところですか？

1つのことを一貫して担当できるところかな。例えば、ホームページ作成では、企画、デザイン、制作まで自分で担当させてもらえる。デザイン面が苦手分野で「やっぱり向いてないなあ」なんて、考えてしまうことが多々ありますけど・・・。

**Q** 今課題に感じていることは何ですか？

企業で働いたことがないのでノウハウや経験がない。書籍などでいくら、技術的なことは学べても、そういうものは得られない。自己流でやっているので、常に「これでいいのか」という疑念を持ってしまう。もっと経験を積み、技術を磨き、よりいい仕事をしていきたい。

**Q** 在宅就業するにあたって、大切だと感じることは何ですか？

納期を守る。体調管理などは基本的なことはもちろん、客観的に自分の仕事を評価する目を持つこと

だと思います。在宅就業は基本的に1人で1つのことを完結するので、他の人がどのようにやっているのか、最新の技術、技法など、いろいろな情報が入りにくい。他人と比較してどうこういうのではなく、情報入手する場が極端に少ない。そういう情報があれば、自分の仕事の改善すべき点が見えてくる。どんなにいい仕事をしていても必ず次への課題があると思うので、そういう課題を自分で見つけ出すことだと思います。モチベーションも自然にあがるしね。

**Q** 「仕事をしていて良かった」と感じる時はどんなときですか？

人との出会いかな。今の飲み仲間みんな仕事のつながり(笑)。  
僕はこの7年間で仕事を通じ、いろいろな自分の可能性が見えてきて、自動車免許や一人暮らしをすることができました。これは仕事をしていたのももちろん大きいですが、いろいろな出会いの中でいろいろな支援や、叱咤激励をいただきながらのもので。

**Q** 今後の目標を聞かせてください。

3つあります。

1つ目は、もっと経験を積み、技術を磨き、よりいい仕事をしていくこと

2つ目は、今まで多くの人に助けられ、ここまでやってきました。いずれ(10年後？、20年後？)は、今度は自分が反対の立場になれるようにしていきたいと思っています。そのためには、もっと成長が必要ですけど・・・。

3つ目は、彼女を作ること(笑)。これが最大級の課題かも。とにかくがんばります。

このインタビューをお願いした後、林さんは Man to Man G Animo.com株式会社(大垣市)で働くことが決まりました。工房で得た知識や技能を活かして頑張ってもらいたいと思います。